

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	運転免許取得・自動車改造費助成				シート番号	011-115
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課 評価責任者(課長名)
						小須田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 8 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称・障害者総合支援法)			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	身体障害者及び知的障害者の社会参加を促進するために事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民税の所得割が非課税の世帯に属し、身体障害者福祉法第15条第4項の規定に基づき身体障害者手帳の交付を受けた方及び厚生事務次官通知により療育手帳の交付を受けた方又は、その取得の対象に準ずる障害のある方。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	身体障害者及び知的障害者が自動車で移動することにより、利便性の向上や行動範囲を拡大し、同時に社会参加の促進や雇用の拡大を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	障害者が運転免許を取得するための費用の一部及び自動車の改造に要する経費の一部を助成することで、外出にかかる交通手段の利便性の向上をはかり、自立と社会参加を促進する。 所得税及び市民税の所得割が非課税の世帯に属し、身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた方又は、その取得の対象に準ずる障害のある方に、免許取得費は最大45,000円、自動車改造費は最大100,000円を助成する(自動車改造費は身体障害者が対象)。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費(a)	千円	2,025	2,018	2,080	1,474	1,980	1,399	1,335	
主な事業費内訳	免許取得費	千円	225	0	180	90	180	0	135
	改造費	千円	1,800	2,018	1,900	1,384	1,800	1,399	1,200
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	2,025	2,018	2,080	1,474	1,980	1,399	1,335	
12 人件費(b)	千円	820	820	820	820	810	810	820	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,845	2,838	2,900	2,294	2,790	2,209	2,155	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	運転免許取得・自動車改造費助成	シート番号	011-115
-------	-----------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	令和元年度は、免許取得助成0件、自動車改造14件に対し助成を行うことで、障害者の外出にかかる利便性が向上し、自立と社会参加に寄与した。 (参考)過去の助成件数 ○免許取得 令和元年度 0件、平成30年度 2件、平成29年度 0件、平成28年度 1件、平成27年度 3件、平成26年度 4件 ○自動車改造 令和元年度 14件、平成30年度 15件、平成29年度 21件、平成28年度 5件、平成27年度 19件、平成26年度 24件					
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	助成件数(運転免許)	件	目標値	-	-	-
				実績値	0	2	0
				達成率	-	-	-
				評価	-	-	-
	算出方法・設定根拠など		本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難。				
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16	助成件数(自動車改造)	件	目標値	-	-	-
				実績値	21	15	14
				達成率	-	-	-
				評価	-	-	-
	算出方法・設定根拠など		本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難。				

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	助成件数(運転免許)	件	0	2	0
	②	上記①にかかる年間経費	千円	0	270	0
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		134,941	
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	助成件数(自動車改造)	件	21	15	14
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,838	2,024	2,209
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	135,143	134,941	157,786
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	申請件数については、免許取得、自動車改造ともに過去5年間の平均件数を下回った。 当該制度については、各地域福祉課窓口での案内をはじめ、障害福祉のしおりや堺市ホームページなどを通じて周知に努めている。	<b>【分析のチェックポイント】</b> ○ 事業の達成度はどうだったか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	運転免許取得・自動車改造費助成	シート番号	011-115
-------	-----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 身体障害者・知的障害者の運転免許取得及び身体障害者の自動車改造が進まず、障害者の社会参加の促進や雇用機会の拡大につなげることができない。 なお、当事業は地域生活支援事業の任意事業の位置づけであり、全政令市及び府内全自治体が実施している。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 上記廃止した場合と同様。 <b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> コストは助成にかかる扶助費及び最低限の人員費のみであり、これ以上のコスト減は見込めない。 助成金額を落とすことは要綱改正により可能だが、障害のある方の運転免許取得や自動車改造が進まなくなり、社会参加の機会がそがれてしまう。 ※なお、当該事業は交付税を財源としている。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 主に自動車改造にかかる申請がほとんどであり、改造内容が多岐に渡るため、申請者に対しヒアリングが必要であるが、区役所窓口において飛沫防止対策を行っているため、既に対応できている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	<b>理由・説明</b> 市が実施する助成事業であるため公民連携の推進等による改善は見込めない(既に最善の方法で実施している)。全政令市及び府内全自治体が実施しており、サービス基準の均衡を保つ必要がある。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 障害者の社会参加の促進のためには、移動手段の取得が有効であり、今後も適切に運用していく。		